

JED

厨房排気用 グリスフィルター

厨房排気用 防火ダンパー

防災基準適合

JGZ
グリスフィルター



カタログ 2026

JED

日本設備企画

ENGINEERING & DESIGNING

特長

- 規格—総務省消防庁火災予防条例（例）性能規定適合
グリス除去装置として用いるグリスフィルター
（社）日本厨房工業会認定品



- 低静圧型—50Pa
- 高性能—油脂除去率78.95%
油脂付着率5.06%
静圧50Paのとき
- バツフル型
- 材質—ステンレス製
取付枠 SUS430 0.6mmt
グリスフィルター SUS430 0.5mmt
- 洗浄—点検洗浄が容易な構造
- 取付—取付が容易な組立式構造
- 特許—特許出願済

用途

- 業務用厨房設備の排気口に取付け発生する油煙を
捕捉除去回収する「グリスフィルター」です。
- 防災対策・環境維持の為のグリスフィルターです。

火災予防条例（例）総務省消防庁

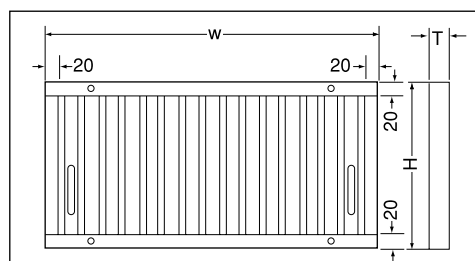
- 油脂を含む蒸気を発生させるおそれのある厨房設備の
フードにはグリスフィルター等の「グリス除去装置」
を設けること。
- 「グリス除去装置」は耐食性を有する鋼板又はこれと
同等以上の耐食性及び強度を有する不燃材料で造られ
たものとする。
- 「グリス除去装置」はその構造の基準等によること。

保証期間

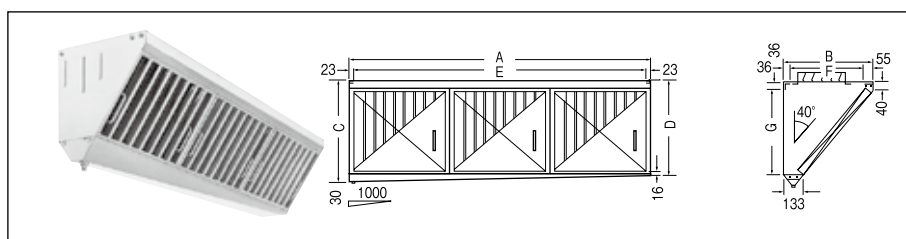
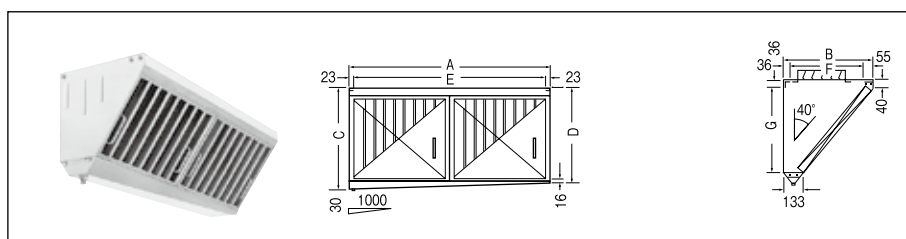
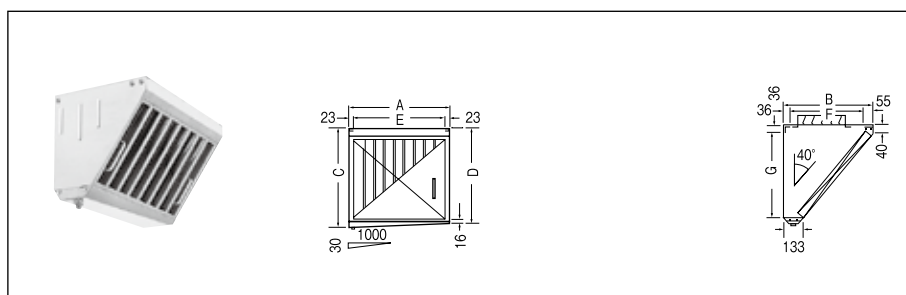
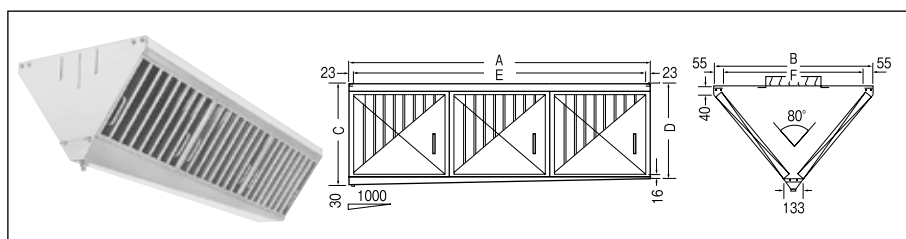
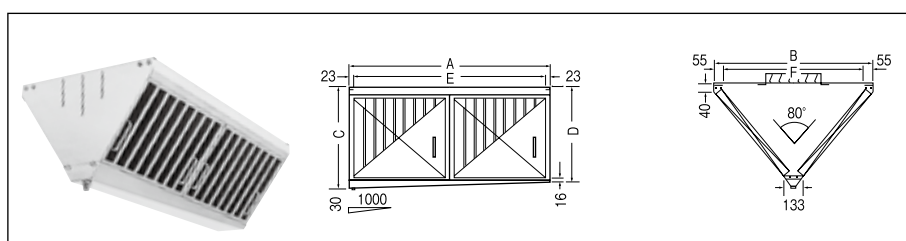
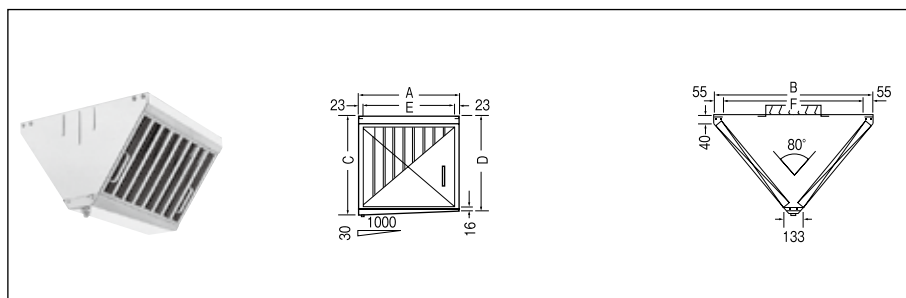
- 納入後1年間

グリスフィルター型式表

型 式	寸 法 mm			有効面積 m ²	定価 税別 ¥
	H	W	T		
JFZ-5050	500	500	30	0.2116	16,000
JFZ-4050	400	500	30	0.1656	15,000
JFZ-3050	300	500	30	0.1196	14,000
JFZ-2550	250	500	30	0.0966	13,000



グリスフィルターユニット型式表



型式	各静圧における風量 m^3/h (CMH)			チャンバー寸法mm				チャンバー開口寸法mm			使用フィルター		最適オプション防火ダンパー型式		定価 税別
Pa	30	50	70	A	B	C	D	E	F	G	型式	枚数	上ダクト	横ダクト	¥

JGZ-501	1418	1676	1906	505	776	456	441	459	666	—	JFZ-5050	2	JD-4030	—	62,000
JGZ-401	1110	1312	1492	505	648	380	365	459	538	—	JFZ-4050	2	JD-3030	—	58,000
JGZ-301	802	948	1078	505	519	303	288	459	409	—	JFZ-3050	2	JD-3025	—	53,000
JGZ-251	648	766	870	505	455	265	250	459	345	—	JFZ-2550	2	JD-3020	—	49,000

JGZ-502	2836	3352	3812	1005	776	471	441	959	666	—	JFZ-5050	4	JD-5040	—	102,000
JGZ-402	2220	2624	2984	1005	648	395	365	959	538	—	JFZ-4050	4	JD-4040	—	95,000
JGZ-302	1604	1896	2156	1005	519	318	288	959	409	—	JFZ-3050	4	JD-4030	—	88,000
JGZ-252	1296	1532	1740	1005	455	280	250	959	345	—	JFZ-2550	4	JD-4025	—	84,000

JGZ-503	4254	5028	5718	1505	776	486	441	1459	666	—	JFZ-5050	6	JD-6050	—	144,000
JGZ-403	3330	3936	4476	1505	648	410	365	1459	538	—	JFZ-4050	6	JD-6040	—	135,000
JGZ-303	2406	2844	3234	1505	519	333	288	1459	409	—	JFZ-3050	6	JD-6030	—	121,000
JGZ-253	1944	2298	2610	1505	455	295	250	1459	345	—	JFZ-2550	6	JD-6025	—	114,000

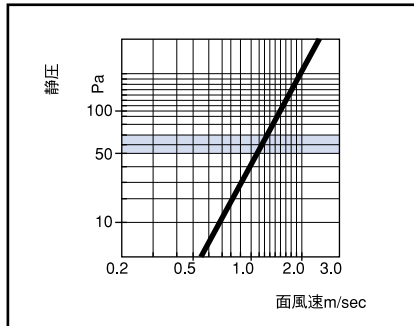
JGZ-501S	709	838	953	505	455	456	441	459	364	389	JFZ-5050	1	JD-3025	JD-3025	43,000
JGZ-401S	555	656	746	505	391	380	365	459	300	313	JFZ-4050	1	JD-3020	JD-3020	41,000
JGZ-301S	401	474	539	505	327	303	288	459	226	236	JFZ-3050	1	JD-3015	JD-3015	39,000
JGZ-251S	324	383	435	505	295	265	250	459	204	198	JFZ-2550	1	JD-3015	JD-3015	37,000

JGZ-502S	1418	1676	1906	1005	455	471	441	959	364	389	JFZ-5050	2	JD-4030	JD-4030	70,000
JGZ-402S	1110	1312	1492	1005	391	395	365	959	300	313	JFZ-4050	2	JD-4025	JD-4025	65,000
JGZ-302S	802	948	1078	1005	327	318	288	959	226	236	JFZ-3050	2	JD-5015	JD-5015	61,000
JGZ-252S	648	766	870	1005	295	280	250	959	204	198	JFZ-2550	2	JD-4015	JD-4015	58,000

JGZ-503S	2127	2514	2859	1505	455	486	441	1459	364	389	JFZ-5050	3	JD-5030	JD-5030	104,000
JGZ-403S	1665	1968	2238	1505	391	410	365	1459	300	313	JFZ-4050	3	JD-5025	JD-5025	96,000
JGZ-303S	1203	1422	1617	1505	327	333	288	1459	226	236	JFZ-3050	3	JD-6015	JD-6015	87,000
JGZ-253S	972	1149	1305	1505	295	295	250	1459	204	198	JFZ-2550	3	JD-6015	JD-6015	81,000

性能

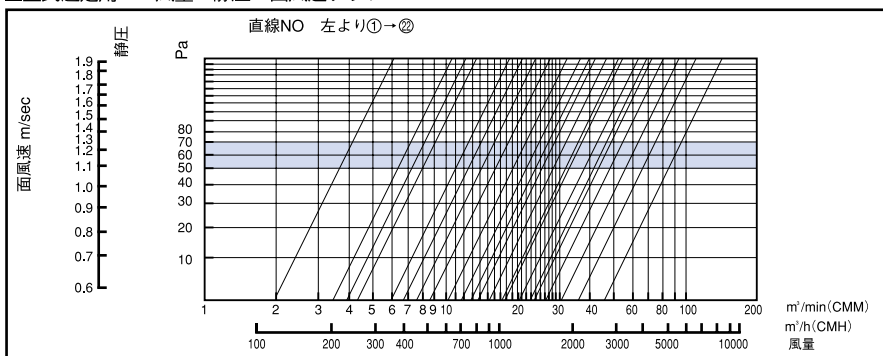
■静圧・面風速グラフ



面風速 m/sec	静圧 Pa	JFZ-5050 風量m³/h	JFZ-4050 風量m³/h	JFZ-3050 風量m³/h	JFZ-2550 風量m³/h	JFZ-2532 風量m³/h
0.70	10	534	418	302	244	149
0.83	20	633	495	358	289	176
0.90	27	686	537	388	313	191
0.93	30	709	555	401	324	197
1.00	38	762	597	431	348	212
1.02	40	777	608	440	355	216
1.10	50	838	656	474	383	233
1.18	60	899	704	508	411	250
1.20	63	915	716	517	418	254
1.25	70	953	746	539	435	265
1.30	77	991	775	560	452	276
1.32	80	1006	787	569	459	280
1.38	90	1052	823	595	480	293
1.40	93	1067	835	603	487	297
1.44	100	1097	859	620	501	305
1.50	108	1143	895	646	522	318

型式選定

■型式選定用 風量・静圧・面風速グラフ



連続 NO	グリッスフィルター 型 式	枚数	連続 NO	グリッスフィルター 型 式	枚数
7	JFZ-5050	1	8	JFZ-3050	2
13	JFZ-5050	2	11	JFZ-3050	3
17	JFZ-5050	3	14	JFZ-3050	4
20	JFZ-5050	4	19	JFZ-3050	6
22	JFZ-5050	6	2	JFZ-2550	1
5	JFZ-4050	1	6	JFZ-2550	2
10	JFZ-4050	2	9	JFZ-2550	3
15	JFZ-4050	3	12	JFZ-2550	4
18	JFZ-4050	4	16	JFZ-2550	6
21	JFZ-4050	6	1	JFZ-2532	1
4	JFZ-3050	1	3	JFZ-2532	2

処理風量算出

■最大消費熱量 (kW) より算出例 (ガス厨房機器)

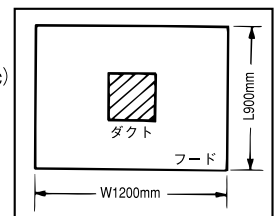
$V = NKQ$ (一般フードの場合 $N=40$)
 V : 有効排気量 (処理風量) (m^3/h)
 N : 排気フードの構造設備状態により定められた数値
 K : 燃料の理論廃ガス量 (m^3/kWh)
 Q : 最大消費熱量 (kW)
 消費熱量: 50kWの厨房機器
 燃料: 都市ガス
 処理風量 $V = 40 \times 0.93 \times 50 = 1860 \text{ m}^3/\text{h}$ (CMH)

燃料の種類	燃料の名称	発熱量	理論廃ガス量
都市ガス			0.93 m^3/kWh
LPガス(プロパン)	50.2 MJ/kg		0.93 m^3/kWh
灯油	43.1 MJ/kg		12.1 m^3/kWh

建設省告示第1826号昭和45年
 換気設備の衛生上有効な換気を
 確保するための構造を定める件
 ※参考 1kWh=約860kcal
 1mmAq=9.8Pa

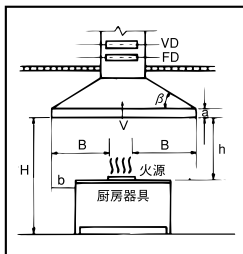
■フード寸法より算出例

(電気厨房機器及ガス厨房機器)
 $V = 3600LWv$ (フード面風速 $0.3 \sim 0.5 \text{ m/sec}$)
 V : 有効排気量 (処理風量) (m^3/h)
 L : フード寸法 (m)
 W : フード寸法 (m)
 v : フード面風速 (通常 0.35 m/sec)
 3600 : m^3/h に換算
 処理風量 $V = 3600 \times 0.9 \times 1.2 \times 0.35$
 $= 1360.8 \text{ m}^3/\text{h}$ (CMH)



排気フード

■「建築基準法施行令第20条の三第2項一号イ」に基づき「建設省告示第1826号昭和45年」「換気設備の衛生上有効な換気を確保するための構造を定める件」で規定

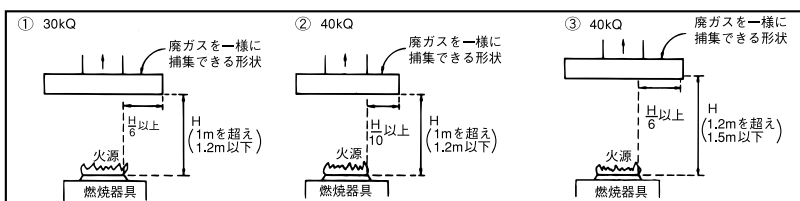


	法規制値			
	I型フード	I型フード	I型フードと同等とみなせるフード	実用値
高さ	h 1.0m以下	1.0m以下	1.2m以下	1.0m以下
大きさ (火源の問題)	B h/2以上	火源等を覆うことができるもの	h/6以上	—
集気部分	a 5cm以上	廃ガスが一様に捕集できる形状	廃ガスが一様に捕集できる形状	10~15cm
材質	β 10°以上	不燃材料	不燃材料	30°~40°
面風速	V —	—	—	0.3~0.5m/sec(注)

(注) AHIRAE applications 1982による。

$V \geq 40KQ$ (一般フードの場合)
 $V \geq 30KQ$ (排気フードI型及びI型フードと同等とみなせるフードの場合)
 $V \geq 20KQ$ (排気フードII型の場合)

「機械設備工事監理指針令和4年版」
 監修 国土交通省大臣官房庁営繕部
 発行 一般社団法人 公共建築協会



① I型フードと同等とみなせるフード 30KQ
 ②③一般フード 40KQ

「換気・空調設備技術基準・同解説2005年版」
 編集 国土交通省住宅局建築指導課
 編集 財団法人日本建築設備・昇降機センター(発行)

■厨房設備とグリッス除去装置との火災予防上安全な距離「一般家庭以外の厨房におけるもの」

厨房設備	グリッス除去装置	グリッスエクストラクター	左記以外のもの
準則別表第3及び第4が適用されるもの			
上記以外のもの		45cm以上	100cm以上
ブローラー等多量の油脂を発生するもの			120cm以上

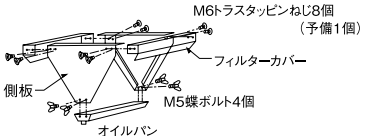
火源が露出しない構造のものは例外規定有
 火災予防条例準則の運用について
 平成5年2月10日付消防令第60号自活消防予防課長

組立方法

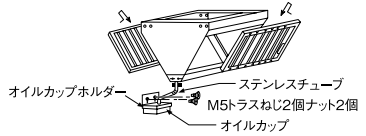
組立・取付は手袋を着用して行って下さい。

■両面型

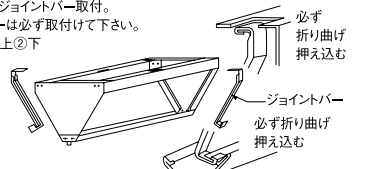
①側板とフィルターカバーをM6トラスタッピンねじで固定。
オイルパンを側板の外側よりM5トラスねじで固定。



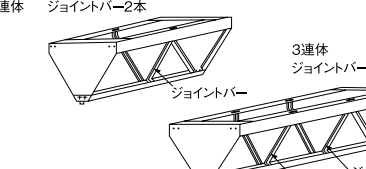
②ステンレスチューブをドレンソケットに取付。
フィルターを取付。



③連体の場合ジョイントバー取付。
ジョイントバーは必ず取付けて下さい。
取付手順①上②下

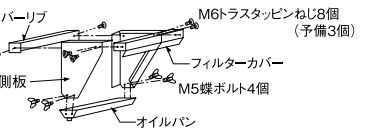


④2連体 ジョイントバー2本
3連体 ジョイントバー4本

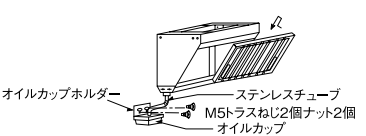


■片面型

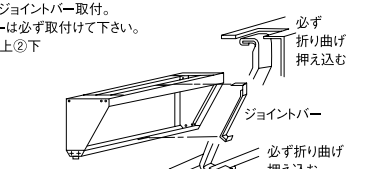
①側板とフィルターカバーを片面型用リブをM6トラスタッピンねじで固定。
オイルパンを側板の外側よりM5トラスねじで固定。



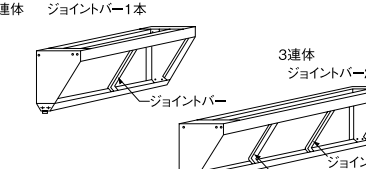
②ステンレスチューブをドレンソケットに取付。
フィルターを取付。



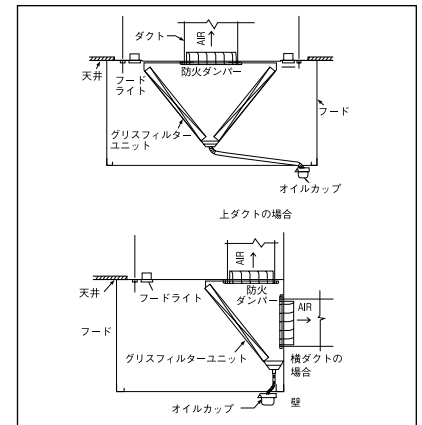
③連体の場合ジョイントバー取付。
ジョイントバーは必ず取付けて下さい。
取付手順①上②下



④2連体 ジョイントバー1本
3連体 ジョイントバー2本



取付参考図



構成部品梱包明細

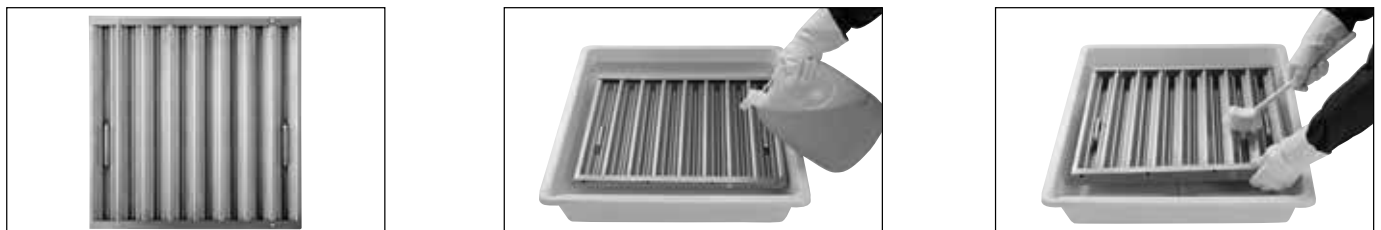
部品	部品名	両面型			片面型			F型		
		単体	2連体	3連体	単体	2連体	3連体	単体	2連体	3連体
梱包	本体箱	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	部品箱	1	1	1	1	1	1	1	1	1
部品	フィルター	2	4	6	1	2	3	1	2	3
	側板	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	片面型用めくら板									
	フィルターカバー	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	片面型用リブ				1	1	1	1	1	1
	連体用ジョイントバー		2	4		1	2		1	2
	オイルパン	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	F型延長用フィルター							1	1	1
	F型延長用オイルパン							1	1	1
	オイルカップ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	オイルカップホルダー	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ステンレスチューブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	M6トラスタッピンねじ	9	9	9	9	9	9	9	9	9
その他	M5蝶ボルト	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	M5トラスねじ	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	M5ナット	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	防錆剤(ステンレス用)	1	1	1	1	1	1	14	14	14

洗浄方法

グリスフィルターを取りはずし、温水洗浄液に2～3時間浸漬して下さい。ブラシで洗浄後、高圧水で洗い流して下さい。

洗浄する場合は手袋を着用の上、ブラシを使用して下さい。

グリスフィルターを洗浄する時は表板と裏板に分解しないようにして下さい。



防災の為、グリスフィルター・オイルパン・オイルカップは常に点検清掃して下さい。洗浄用予備グリスフィルターをご使用下さい。

特長

- 規格－総務省消防庁火災予防条例（例）仕様規定適合
火炎伝送防止措置として用いる防災ダンパー
- 材質－1.5mmtSUS430ステンレス製 羽根ケーシング共
- 感知方式－公称作動温度180℃温度ヒューズ
- 点検洗浄－点検洗浄が容易な取りはずし式構造
- 取付－差込取付方式・簡易取付構造
- 特許－特許出願済

用途

- 業務用厨房設備の排気口に取り付ける防災対策の為の
「防火風量調整ダンパー」「FVD」です。

火災予防条例（例）総務省消防庁

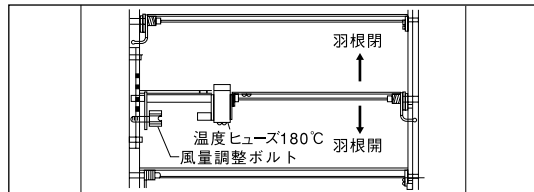
- 油脂を含む蒸気を発生するおそれのある厨房設備のフ
ードには「火炎伝送防止装置」を設けること。
- 「火炎伝送防止装置」とは防火ダンパー又は自動消火
装置を指す。
- 防火ダンパーの構造は「自動閉鎖構造」「厚さ1.5mm
以上の鉄板材料」「閉鎖時すき間の生じないもの」。

保証期間

- 納入後1年間

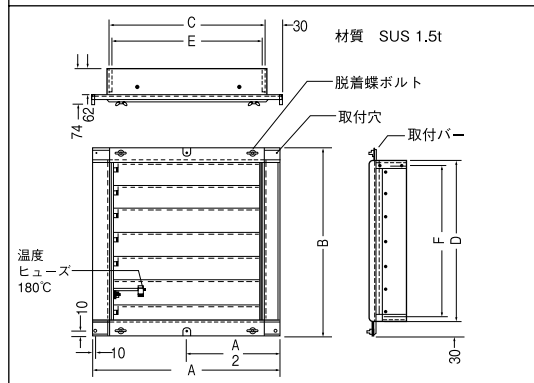
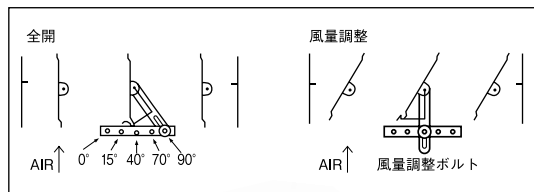
温度感知閉鎖装置

■温度感知閉鎖装置



羽根を温度ヒューズにカチッとかけ合う迄開いて下さい。
羽根は温度ヒューズが作動温度を感知すると閉鎖。

■風量調整装置



防火ダンパー型式表

型式	適用ダクト 開口寸法mm		外寸mm				開口寸法		見掛け開口 面積㎡	羽根 枚数	定価 税別 ¥
			A	B	C	D	E	F			
JD-1515	150	150	200	200	140	140	125	126	0.0158	3	25,500
JD-2015	200	150	250	200	190	140	175	126	0.0221	3	26,000
JD-2020		200		250		190		176	0.0308	4	27,000
JD-2515	250	150	300	200	240	140	225	126	0.0284	3	26,500
JD-2520		200		250		190		176	0.0396	4	27,500
JD-2525		250		300		240		226	0.0509	5	28,500
JD-3015	300	150	350	200	290	140	275	126	0.0347	3	27,000
JD-3020		200		250		190		176	0.0484	4	28,000
JD-3025		250		300		240		226	0.0622	5	29,000
JD-3030		300		350		290		276	0.0759	6	30,000
JD-3515	350	150	400	200	340	140	325	126	0.0410	3	27,500
JD-3520		200		250		190		176	0.0572	4	28,500
JD-3525		250		300		240		226	0.0735	5	29,500
JD-3530		300		350		290		276	0.0897	6	30,500
JD-3535		350		400		340		326	0.1060	7	31,500
JD-4015	400	150	450	200	390	140	375	126	0.0473	3	28,000
JD-4020		200		250		190		176	0.0660	4	29,500
JD-4025		250		300		240		226	0.0848	5	31,000
JD-4030		300		350		290		276	0.1035	6	32,500
JD-4035		350		400		340		326	0.1223	7	34,000
JD-4040		400		450		390		376	0.1410	8	35,500
JD-4515	450	150	500	200	440	140	425	126	0.0536	3	28,500
JD-4520		200		250		190		176	0.0748	4	30,000
JD-4525		250		300		240		226	0.0961	5	31,500
JD-4530		300		350		290		276	0.1173	6	33,000
JD-4535		350		400		340		326	0.1386	7	34,500
JD-4540		400		450		390		376	0.1578	8	36,000
JD-4545		450		500		440		426	0.1811	9	37,500
JD-5015	500	150	550	200	490	140	475	126	0.0599	3	29,000
JD-5020		200		250		190		176	0.0836	4	30,500
JD-5025		250		300		240		226	0.1074	5	32,000
JD-5030		300		350		290		276	0.1311	6	33,500
JD-5035		350		400		340		326	0.1549	7	35,000
JD-5040		400		450		390		376	0.1786	8	36,500
JD-5045		450		500		440		426	0.2024	9	38,000
JD-5050		500		550		490		476	0.2261	10	39,500
JD-5515	550	150	600	200	540	140	525	126	0.0662	3	29,500
JD-5520		200		250		190		176	0.0924	4	31,000
JD-5525		250		300		240		226	0.1187	5	32,500
JD-5530		300		350		290		276	0.1449	6	34,000
JD-5535		350		400		340		326	0.1712	7	35,500
JD-5540		400		450		390		376	0.1974	8	37,000
JD-5545		450		500		440		426	0.2237	9	38,500
JD-5550		500		550		490		476	0.2499	10	40,000
JD-5555		550		600		540		526	0.2762	11	41,500
JD-6015	600	150	650	200	590	140	575	126	0.0725	3	30,000
JD-6020		200		250		190		176	0.1012	4	31,500
JD-6025		250		300		240		226	0.1300	5	33,000
JD-6030		300		350		290		276	0.1587	6	34,500
JD-6035		350		400		340		326	0.1875	7	36,000
JD-6040		400		450		390		376	0.2162	8	37,500
JD-6045		450		500		440		426	0.2450	9	39,000
JD-6050		500		550		490		476	0.2737	10	40,500
JD-6055		550		600		540		526	0.3025	11	42,000
JD-6060		600		650		590		576	0.3312	12	43,500

圧力損失流量制御特性

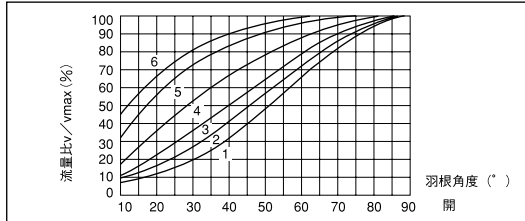
■防火ダンパーを開閉した時の圧力損失 (Δp)

$$\Delta p = \zeta \rho v^2 / 16$$

Δp: 圧力損失 (Pa) ζ: 損失係数 v: ダクト内面風速 (m/sec)

羽根角度°		90°（開）	70°	40°	15°
損失係数	Pa	10	30	100	600

■防火ダンパーを開閉した時の流量特性

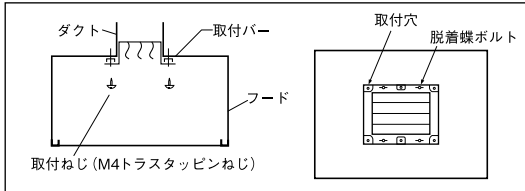


曲線NO	1	2	3	4	5	6
面風速 (m/sec)	30	20	15	10	5	3

取付参考図

■標準差込取付

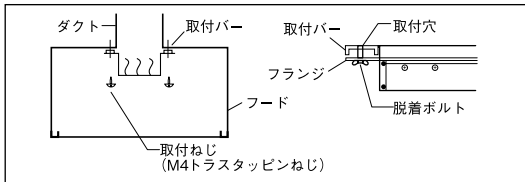
取付バーと本体を脱着蝶ボルトで止めたまま取付けて下さい。



■かぶせ取付 (丸ダクトの場合)

取付バーをフランジ外側に付け替え、又、羽根を全開にセットし、フランジ部を上にして取付けて下さい。

風量調整は脱着ボルトで本体を取りはずしおこなって下さい。



設置・点検・メンテナンス

■ガス給湯器に単独排気フードを設置し厨房ダクトに接続

①「排気温度を低く抑えた排気フード対応型業務用ガス給湯器」給湯器自体で防火対策がなされており防火ダンパーの設置は法的に不要「関係官庁確認のこと」

排気には腐食性酸性ガスが含まれており腐食によりJED 防火ダンパーが閉鎖することがありますので「点検清掃部品交換」が出来るよう設置し定期的な点検をお願いします。

②「従来型ガス給湯器」

厨房ダクトに接続は法的に不可「関係官庁確認のこと」

排気筒から防火ダンパー迄の距離を広くとるようにしてください。

■取扱注意事項

取付・取扱は手袋を着用して行なって下さい。

防火の為、防火ダンパーは常に点検清掃して下さい。

防火ダンパーの風量調整装置はむやみに操作しないこと。

排気ダクト内風量を有効換気量の適正範囲内に保ってください。

■風量調整方法

羽根を温度ヒューズからはずした閉の状態風量調整ボルトをセットし羽根を温度ヒューズにカチッとかみ合う迄開いて下さい。

■温度ヒューズ交換方法

①羽根から温度ヒューズをはずし閉状態にする

②風量調整ボルトをはずす

③温度ヒューズを交換する

④風量調整ボルトをセットする

⑤羽根を温度ヒューズにカチッとかみ合う迄開く

■オプション

①120℃温度ヒューズ

②280℃温度ヒューズ

③VD仕様

■防火ダンパー取りはずし洗浄方法

脱着蝶ボルトをはずし本体を取りはずして洗浄して下さい。

関連法令

■各自治体により異なることがありますのでご確認下さい

■火災予防条例 (例) 昭和36年11月22日自消甲73号消防庁長

(厨房設備) 第3条の4 調理を目的として使用するレンジ、フライヤー、かまど等の設備(以下「厨房設備」という。)の位置、構造及び管理は、次に掲げる基準によらなければならない。

第1号 厨房設備に付属する排気ダクトおよび天蓋(以下「排気ダクト等」という)は次によること。

ホ 排気ダクトは、直接屋外に通ずるものとし、他の用途のダクト等と接続しないこと。

第2号 油脂を含む蒸気を生じさせるおそれのある厨房設備の天蓋は、次によること。

イ 排気中に含まれる油脂等の付着成分を有効に除去することができるグリスフィルター、グリスエクストラクター等の装置(以下「グリス除去装置」という。)を設けること。ただし、排気ダクトを用いず天蓋から屋外へ直接排気を行う構造のものにあっては、この限りでない。

ロ グリス除去装置は、耐食性を有する鋼板又はこれと同等以上の耐食性及び強度を有する不燃材料で造られたものとする。ただし、当該厨房設備の入力及び使用状況から判断して火災予防上支障がないと認められるものにあっては、この限りではない。

ハ 排気ダクトへの火災の伝送を防止する装置(以下「火災伝送防止装置」という。)を設けること。

ただし、排気ダクトを用いず天蓋から屋外へ直接排気を行う構造のもの又は排気ダクトの長さ若しくは当該厨房設備の入力及び使用状況から判断して火災予防上支障がないと認められるものにあっては、この限りではない。

ニ 次に掲げる厨房設備に設ける火災伝送防止装置は、自動消火装置とすること。

(イ) 令別表第一(一)項から(四)項まで、(五)項イ(六)項、(九)項イ、(十六)項イ、(十六の二)項及び(十六の三)項に掲げる防火対象物の地階に設ける厨房設備で当該厨房設備の入力と同一の厨房室内に設ける他の厨房設備の入力の合計が350キロワット以上のもの

(ロ) (イ)に掲げるもののほか、高さ三十メートルを超える建築物に設ける厨房設備で当該厨房設備の入力と同一厨房室内に設ける他の厨房設備の入力の合計が350キロワット以上のもの

第3号 天蓋、グリス除去装置及び火災伝送防止装置は、容易に清掃ができる構造とすること。

第4号 天蓋及び天蓋と接続する排気ダクト内の油脂等の清掃を行い、火災予防上支障のないように維持管理すること。

■火災予防条例準則の運用について 平成3年10月8日付け消防第206号自治省消防庁予防課長 第一五 改正準則第3条の4において、厨房設備に附属する排気ダクト及び天蓋(以下「排気ダクト等」という。)について、ダクト火災等を防止するために必要な位置、構造及び管理の基準を定めたところであるが、その運用については、以下によること。

(1) 排気ダクト等の位置及び構造について(第1項第2号関係)

オ 第2号ホの「他の用途のダクト等」とは、一般空調用のダクト、給湯湯沸設備等の煙突を指すものであること。ただし、給湯湯沸設備等の煙突のうち建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第二十条の四第2項第5号ただし書に該当するものにあっては、火災予防上十分な安全性を確保できる措置を講じた場合に限り、厨房設備に付属する排気ダクトとの接続を認めて差し支えないものであること。

(2) 天蓋に設けるグリス除去装置及び火災伝送防止装置について(第1項第3号関係)

ア 第3号柱書きの「油脂を含む蒸気を生じさせるおそれのある厨房設備」とは、天ぷら、炒めものその他排気ダクトにおける火災の発生の原因となる油脂を含む蒸気が発生する調理に使用する厨房設備をいうものであること。

イ 第3号イの「排気ダクトを用いず天蓋から屋外へ直接排気を行う構造のもの」とは、天蓋が建築物外部に面する壁に接して設けられており、この接続部に存する排気口から屋外へ直接排気を行うものをいうものであること。

ウ 第3号ロの「耐食性を有する鋼板又はこれと同等以上の耐食性及び強度を有する不燃材料で造られたもの」とは、ステンレス鋼板又はこれと同等以上の耐食性及び強度を有する不燃材料で造られたものをいうものであり、その構造の基準等については、別途通知する予定であること。

また、「当該厨房設備の入力及び使用状況から判断して火災予防上支障がないと認められるもの」とは、上記(1)アと同様であり、このような場合には、上記の構造によらない金属製のグリスフィルターとすることができるものであること。

エ 第3号ハの「火災伝送防止装置」とは、防火ダンパー又は自動消火装置を指すものであること。また、「排気ダクトの長さから判断して火災予防上支障がないと認められるもの」とは、厨房設備から5メートル以内にファン停止用スイッチを設け、かつ、その旨の表示が行われている場合であって、以下の(ア)又は(イ)に該当するものいものであり、この条件を満たす場合には、火災伝送防止装置を設置しないことができるものであること。

(ア) 厨房室から直接屋外に出る水平部分の長さが4メートル以下の排気ダクトで、厨房室内に露出して設置されているもの

(イ) 耐火構造の共用排気ダクトに接続されている水平部分の長さが2メートル以下の排気ダクトで厨房室内に露出して設置されているもの

なお、「排気ダクトを用いず天蓋から屋外へ直接排気を行うもの」については、上記イ、「当該厨房設備の入力及び使用状況から判断して火災予防上支障がないと認められるもの」については、上記(1)アとそれぞれ同様であり、これらの場合には、火災伝送防止装置を設置しないことができるものであること。

オ 第3号ハの「火災伝送防止装置」として防火ダンパーを設ける場合は、次によること

(ア) 火災等により温度が上昇した場合において、自動的に閉鎖する構造とすること。この場合、自動閉鎖の作動温度設定値は周囲温度を考慮し、誤作動を生じない範囲でできる限り低い値とすべきものであること。

(イ) 防火ダンパーは、厚さ1.5ミリメートル以上の鉄板又はこれと同等以上の耐熱性及び耐食性を有する不燃材料で造られたものであること。

(ウ) 閉鎖した場合に防火上支障のあるすき間が生じないものであること。

■建築基準法施行令 昭和25年11月16日政令第338号

第二十条の三 (火を使用する室に設けなければならない換気設備等) (マ)

第2項第5号「ただし書」 ただし、用途上その他の理由によりこれによることが著しく困難である場合において、排気フードを有する排気筒を設けたときは、この限りでない。(マ)

型式選定

■グリスフィルターユニット型式最適防火ダンパー及びダクト開口選定 (ダクトメジャーにて算出)

防火ダンパーの型式選定はグリスフィルターユニットの適正処理風量よりダクト圧力損失0.8Pa [2Pa以下に設計] が確保されたダクト寸法を選定しグリスフィルターユニットに内蔵可能な防火ダンパーを型式選定。グリスフィルターユニットに最適静圧50Paを確保させる為には防火ダンパーに圧力損失20Pa程度を考慮し、合計静圧を70Paにて設計して下さい。

